

## 清流通信「四万十川物語」第25章 (H11.5.10)

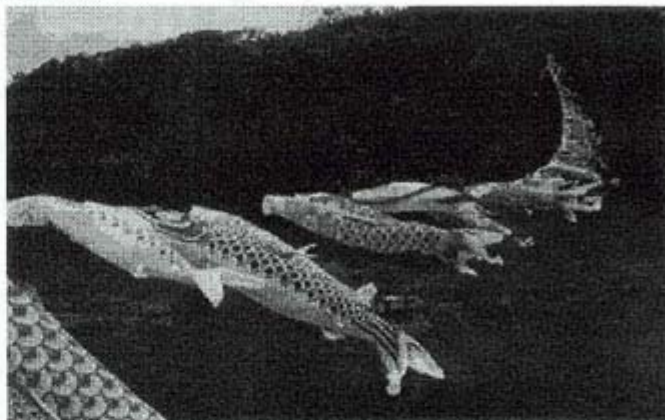
送信者：高知県四万十川対策室

tel(0888)23-9795 fax(0888)23-9296 E-mail s14102@ken.pref.kochi.jp

### 鯉のぼりの四万十川渡し (十和村)

四万十川中流域の十和村十川(とおかわ)地区で、初夏を告げる「鯉のぼりの四万十川渡し」が4月18日より始まりました。

色鮮やかな約500匹の鯉のぼりが、鯉のぼり公園の上空、四万十川の兩岸を結ぶ長さ約600mの2本のワイヤーに取り付けられて、新緑の四万十をたくましく泳いでいます。



●四万十川の上空を泳ぐ鯉のぼり

この川渡しは「十川体育会」(松元忠重会長)が昭和49年に、子供達の健やかな成長を願って、使われなくなった鯉のぼり約50匹を集めて四万十川に渡したのが始まりです。故郷を離れた村出身者が「子供が大きくなったので、故郷の川で泳がしてほしい」という想いで送られたり、テレビや新聞などで知った全国の方々から続々と送られるようになりました。風雨にさらされ傷つき、揚げることができなくなった鯉のぼりは、数年に1度開催される供養祭で丁重に供養されます。(昨年に第3回目の供養祭が行われ、約700匹が供養されました。)

全国で行われている川渡しの元祖ともいえるこの行事は、JR十川駅下車、上流に向かって約200mの国道381号線沿いで見られます。(5月15日まで)

全国で行われている川渡しの元祖ともいえるこの行事は、JR十川駅下車、上流に向かって約200mの国道381号線沿いで見られます。(5月15日まで)

#### 四万十情報

◎四万十川良心市場 ～四万十の幸を届けます。～

四万十川中流域3町村(大正町、十和村、西土佐村)でつくる第3セクター「鯛四万十ドラマ」が、四万十川流域生産グループで作られた産品を通信販売でご家庭にお届けするシステムです。「なるべくそのままがいいのです。」の合言葉のとおり、商品は田舎みそ、卵、川のり、干し椎茸など、田舎ならではの自然で素朴なものばかりで、ご贈答にも最適です。

問い合わせは

鯛四万十ドラマ(TEL 0880-28-5527, FAX 0880-28-4875)

#### 四万十りんりんサイクル

車では一瞬で通り過ぎてしまう景色でも、自転車に乗ってゆっくり走ってみると新たな発見に出会えます。四万十川下流域の45km区間で、4カ所のターミナル間は乗り降り自由(いわゆる乗り捨て方式)です。

予約先:西土佐村観光協会カヌー館  
TEL0880-52-2121 FAX0880-52-2424

次章(6月10日発信)は、「四万十川シンポジウム」を予定。